

- (1) 第20回 大牟田支部定期大会
- (2) 第30回なくせ全国じん肺アスベストキャラバン特集
- (3) // 荒木栄記念祭
- (4) 連続特集 (子ども食堂)

SOLIDARITE 「連帯」 ソリダリテ

建交労大牟田支部通信

(No. 43)



大牟田市政の現状と建交労への連帯挨拶された、崎山恵子氏議会議員

建交労大牟田支部第20回定期総会

台風19号が物凄く心配でしたが、10月13日(日)記念すべき大牟田支部第20回定期大会が開催されました。

来賓として建交労福岡県本部 大会スローガンで掲げられた内の一つ「全ての要求闘争を前進させる強大な建交労をつくろう」では、各分会それぞれが仲間を増やすこ

中、お出で頂きました。書記長、日本共産党市議会議員2名、親仁会労組、年金者組合からご多忙の中、お出で頂きました。

全日自労から引継ぎ20年

とを提起し、政治的にも影響力をもたらす大きな組織づくりを全員参加型の大運動として全会一致で採択しました。

労働組合の書記長を務める2名が同姓同名なのは知っていました。ここで両者初対面となりました。

トピックス



(左) 親仁会労組書記長緒方英樹氏



(右) 福岡県本部書記長緒方秀樹氏



じかたび
アスベストという労働職業病は、今後市民にまで広がり「公害」と呼ぶ事になるのでしょうか...いえ、そうさせない為に、命の限り闘っているのです。

「建設労働者のうた」

1. やけつく日ざしに クレーンがうなる 思わずぬぐった汗の汗が ふしくれたった こぶしにひかる ビルを、道路を、 作りつつける われら建設労働者
2. タやみただよう 酒やのすみで グツとおおった ジョッキのあわに こよい安堵の笑顔がやぶる むかしを、苦勞を、 ようこびをかたる われら建設労働者
3. いっつくるよん おもてにあれば 明けゆく空をこがねにそめて 工事現場に朝がくる 明日の、希望を、 だんけつ きづく われら建設労働者

第30回なくせじん肺・アスベスト全国キャラバン

じん肺の闘いの原点に立ち返り
アスベストの闘いへバトンタッチ



今年で第30回を迎えた「なくせじん肺・アスベスト全国キャラバン」。全国実行委員会からこの節目の機会に出陣式をどこで行うか喧々諤々議論されていた。集団訴訟発祥とされる「北松じん肺」の地、長崎県佐々町で出陣式が実行された。私達大牟田からは、建交労・福建



今年で第30回を迎えた「なくせじん肺・アスベスト全国キャラバン」。全国実行委員会からこの節目の機会に出陣式をどこで行うか喧々諤々議論されていた。集団訴訟発祥とされる「北松じん肺」の地、長崎県佐々町で出陣式が実行された。私達大牟田からは、建交労・福建

ある。私達、築炉じん肺訴訟団・九州建設アスベスト訴訟団はこの碑に「裁判闘争で必ず勝利し、同じ被害を後世に残さない」決意をした。九州一円キャラバン要請 私たちは、北松のある長崎を先頭に、佐賀←大牟田←熊本←鹿児島←宮崎←大分←福岡へキャラバンカーを繋ぎ各地自治体や労働行政へ要請を行った。10月3日大牟田地域要請行動では、大牟田市要請へ日本共産党市議会議員を招き、「市民が主人公は、市職員も同じである」として闊達な意見交換を行った。ここ大牟田市では独自で300〜1000㎡の建屋を独自調査した265軒と、同条件の建屋の所有者へのアンケート調査252軒（回答率52.7%）合計517軒の台帳整備が行われていた。西日本石炭じん肺弁護団長の岩城弁護士より「これまでハザードマップの作成に対してキョトンとしていたのに、今では目の色を変えて真剣に取り組んでいる」と評価されていた。又、絵本ギャラリー建設予定地にある旧老人福祉センターの解体について、アスベスト

大牟田の中心で、じん肺・アスベストの危険性を叫ぶ 大牟田市要請行動が終わり、大牟田市の中心地である、ゆ



除去工法の見直しで2500万円の削減案があったが、外壁塗料だけではなく塗装面の下地調整剤にもアスベストが含まれていた事で削減案は振り出しに戻ったが、市は施設にアスベストが使用されている事を前提にしかるべき除去解体を行う事を決めていた。

荒尾市要請行動 荒尾市では、荒尾市のスタンスは、大気汚染防止法の対象外自治体である事から、解体予定の届け出受理、それに対応する実地検証は行っていない。よって熊本県の指導を仰ぐ。と回答。(3ページへ)



めタウン大牟田国道側へキャラバンカーを乗り付け、市民や道行く車両、買い物客へ、アスベストの危険性は、建築・解体労働者だけの問題ではなく、一般市民にも忍び寄るもの。伊黒弁護士がマ



伊黒弁護士より「国交省アスベストマニュアルを受けて、災害がおきた場合に、被災者の窓口である自治体の責任で、被災箇所に入る事になり、当然ハザードマップや防塵マスクを使用しなければ市職員が先ずアスベストに曝露する事になる。大気汚染防止法の対象自治体でないから権限がないとか、建築リサイクル法の適用になっていないからではない、やはり市民の窓口としての責任を果たす意味で、アスベストを含有している可能性のある建築物の調査・把握をし、台帳に記録し、アンケートによる情報収集も活用して、地図化する事が求められる。隣の大牟田市は独自でアンケート調査や実態調査を行い、台帳を整備し地図化してきている、大牟田市の独自の行動を手本にすべきである」と諭された。

大牟田集会を契機にアスベスト問題を市民運動へ！

同日、午後6時30分から大牟田市総合福祉センターで集会を開催しました。政党や団体の枠を超えて広く呼びかけ、驚いた事に荒尾市建設経済部からも参加があり45名が集った。

ここでは、この第30回を数えるキャラバンの到達点を報告し、九州社会医学研究所田村医師から、今後急増するアスベスト含有建築物の解体のピークが労働者だけではなく市民にまで健康被害を招く危険性をスライドを用いて講演があり、実際のアスベストアナライザー（石綿検知器）を用いてデモンストラクションが行われた。



参加者らは、アスベストアナライザーの検知機能を手に取り体験し、これを用いて事

前の調査が必要だという認識が現れた。



そして、今全国が注目する九州建設アスベスト訴訟の判決を目前に控える山本一行弁護士が勝利判決を勝ち取る熱い決意が語られ、本訴訟の遺族原告らも亡き夫の無念を晴らし、同じ被害を子や孫の代まで残さない強い決意が語られた。

集会最後に、アスベストが今後どれだけ市民に健康被害をもたらすか、労働者性のない一人親方や一般市民が救済される「石綿健康被害救済制度」の窓口が大牟田市保健所であり、県などへその機能を返戻しようとする市政を告発し、「あやまれ・つぐなえ・なくせじん肺・アスベスト」を市民運動に展開する事を呼びかけ集会を終えた。

※続きは次号へ掲載

第34回荒木栄記念祭

荒木栄は労働運動の中に生きている

10月26日は、労働者作曲家・荒木栄の命日。栄が産まれ育ち、激しい労働運動の中うたごえと言いう火を灯し、命を燃やし切った大牟田米の山病院前で、第34回荒木栄記念祭が執り行われた。

栄が生きていれば94歳になる。

記念祭に集ったのは、かつて三池闘争や日米安保反対闘争を繰り広げてきた労働・民族解放・うたごえ運動の前進達です。

そして栄の志を引き



継ごうとする若者の姿もあつた。

荒木栄碑に献花する人々。この碑には「地底のうた」最終楽章が刻まれている。

参加者らは栄の灯を絶やさないと黙祷を捧げ、数ある栄の楽曲の内、「地底のうた」「心はいつも夜明けだ」「沖繩を返せ」「がんばろう」を全員合唱した。



闘いは今から「オーッ！」

栄は37歳という若さで息を引き取ったが、栄の魂は今も尚生きている。私たちも荒木栄と共いうたごえで統一していく…

り食 いしスりが祉に0市は食一そ
組堂子てたタ組こ協社1で大何堂子も
みののどあるとーみの議会6は牟ぜーども
の取も。書トを取会福年2田よ？とも



「子ども食堂」とは… (1)

連続特集

10月発行大牟田市のフリーペーパー「どがしこてん」に「子ども食堂」の特集が載っています。読んでみましょう。

目的が今一つ漠然としている様な気がする。大牟田市内では、8ヶ所(校区?)毎で催されている。この背景にあるのが「核家族化」「少子化」「増加し続ける共稼ぎ家庭」「ひとり親家庭」「高齢世帯」「独居世帯」と位置付けられている。確かにこの取り組みが緊急課題である事は否めない。しかし、ただただ独りぼつちや貧困家庭への定期的(一ヶ月毎)の

取り組みでいい訳がない。むしろ、この背景にあると位置付けられている現象が何故起こるのか?そこを手当てせず何の解決にもならないとさえ思う。この「子ども食堂」に関わる方々に詳しい話しを聞いてみようと思う。ただただ可哀そうにただで、その主人公たちが救われる訳ではない様である。都度、レポートしていきまますので続けてご覧ください。(高橋)

<行事予定>

- 11月
- 1日(金) 10:00~労職分会定例会・15:00 築炉じん肺弁護団会議
 - (祝) 4日(月) 12:30~公共一般分会定例会
 - (祝) 4日(月) 14:00~9条の会15周年記念講演
 - 6日(水) 10:30~第2回県本部執行委員会
 - 6日(水) 13:00~福岡県要請行動
 - 7日(木) 10:00~秋の中央行動
 - 8日(金) 9:30~西日本石炭じん肺弁護団会議
 - 10日(日) 13:00~大牟田合唱祭・文化会館
 - 10日(日) 大牟田市長選国告示
 - 11日(月) 15:00~九州建設アスベスト第1陣・判決
 - 12日(火) 10:00~トラックの日総行動基山PA
 - 14日(木) 春闘要求アンケート回収締め日
 - 19日(火) 14:00~大牟田社会保障推進協議会幹事会
 - 21日(木) 15:30~支部執行委員会
18:30~県本部組織拡大委員会

健康相談会	
(10月末時点)	
・石綿健康管理手帳取得	4名
・じん肺管理区分4	1名
・じん肺管理区分3イ	1名
・じん肺管理区分2	2名
・じん肺合併症決定	2名
・じん肺合併症申請予定	2名
・遺族補償決定	1名

- 12月
- 1日(日) 10:00~県本部春闘討論集会・大牟田5名
 - 2日(月) 13:00~公共一般分会定例会
 - 4日(水) 13:30~築炉じん肺第2陣控訴審第1回期日・福岡高裁1003号法廷
 - 6日(金) 10:00~労職分会定例会